



みなみおおすみ

# みんなの議会

第51号

平成30年  
2月号

稱讚  
はまゆう

合同七草会



P2

モニター  
会議

議会モニター会議開催

P3

決算

121億円の目的と効果

P6

予算

タウンプロモーション事業など追加

P8

町政を  
問う

一般質問 8名が登壇

P17

委員会

調査レポート

# ご挨拶

南大隅町議会

議長 大村 明雄



新しい年を迎え、早いもので2ヶ月が過ぎました。

町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年4月の改選で4名の新人議員（うち女性3名）が誕生し、町民に身近で開かれた議会を目指して12名で議会活動を行っております。

本町では、観光産業を含む地域産業振興対策や人口減少対策などが喫緊の課題であり、また災害に強い町づくりも重要な課題と捉えております。

今後も町民福祉の向上に全力を傾注してまいりますので、議会に対するご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、議会を代表して年初めの挨拶といたします。

## 第1回みんなの議会モニター会議開催



平成29年12月20日、第1回「みんなの議会」モニター会議が開催されました。この会議は、読者である町民の方々から広くご意見やご感想を伺い、それらを「みんなの議会」のより良い誌面づくりに、活かしていこうとする取り組みのひとつで、今回、初めて実施したものであります。根占地区から4名、佐多地区から2名のモニターに、「みんなの議会」第50号」の春山記者を加えた、7名の方々に「みんなの議会」や、これまで発行された広報誌に対し、様々なご感想やご意見をいただきました。議会から発信する内容が町民に対して理解されているものなのか、また、どの様な誌面づくりが求められているのか何う事が出来ました。今後も、「みんなの議会」発行ごとに開催し、「みんなの議会」が議会からの一方通行の広報誌ではなく、議会と町民、双方向からの様々な記事が掲載出来る様に広くご意見等を賜りたいと思っております。

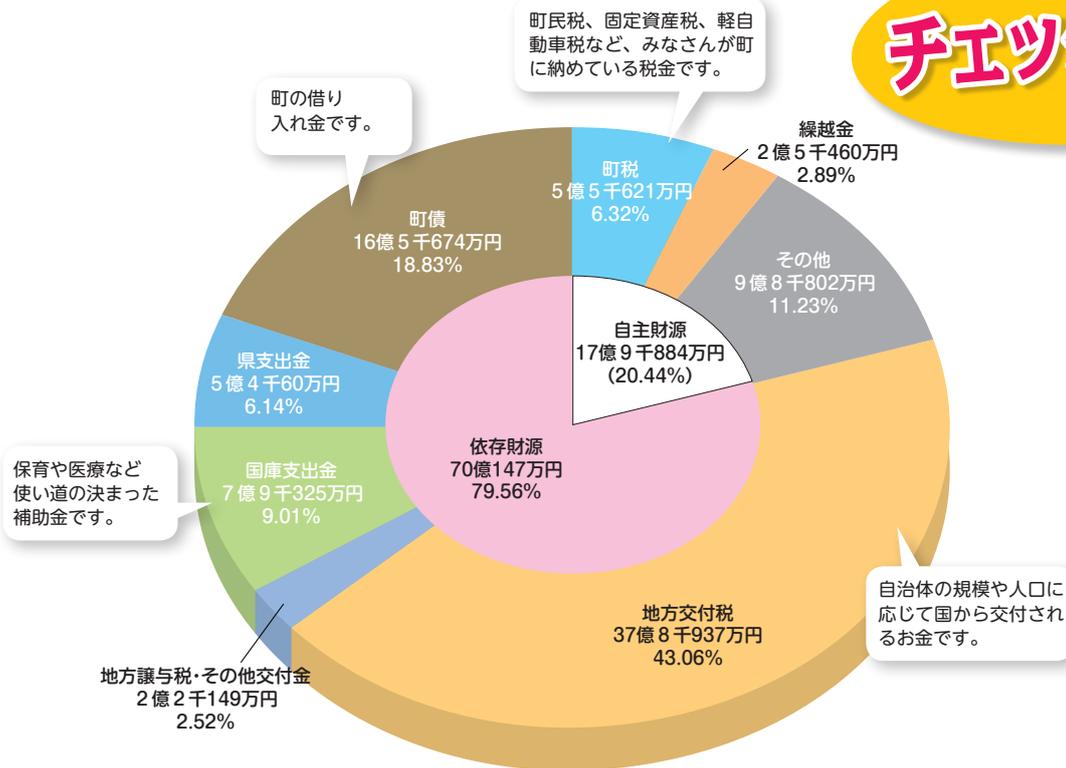
### ○モニター紹介

- ・川原 俊一さん
- ・中原 ふみ子さん
- ・野田 照代さん
- ・船倉 浩さん
- ・宮ヶ原 克己さん
- ・山之内 正博さん
- ・春山 秀武さん

\*内容は、特集記事として今後、掲載する予定です。

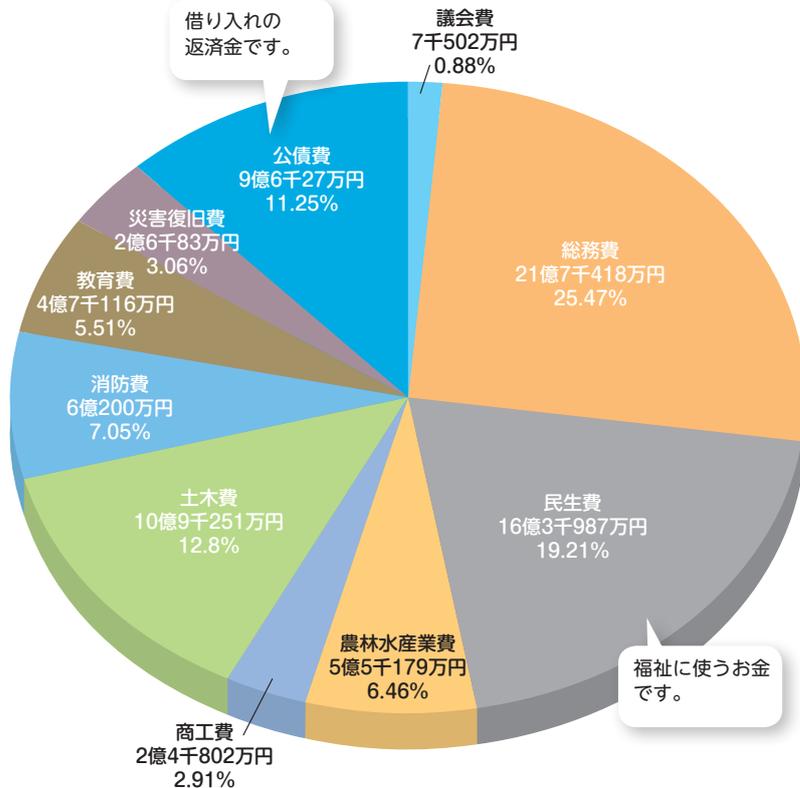
# 【一般会計の内訳】

チェックしました!



収入合計

88億32万円



支出合計

85億3618万円

※四捨五入により合計が一致しないことがあります。

平成28年度決算

121億円の目的と効果

9月議会終了後、決算審査特別委員会において、平成28年度決算の審査が実施されました。一般会計と国民健康保険事業など7つの特別会計の121億8千9百万円の支出を承認いたしました。

来年度予算に活かす

# 議会の提言



## 1. 就学援助費の支給方法

- ・援助目的に沿った利用がなされる様支給方法の見直しを望む。
- ・新入学時学用品費は、入学前の支給を実施すべき。

## 2. 体育施設管理

- ・町民運動会の開催にあたり、根占・佐多地区の隔年開催の為、その整備に多額の費用を要している。検討すべきである。
- ・根占運動場の管理が悪い。年間を通じて良好な状態を保つべきである。

## 3. 辺塚歯科診療所

- ・1年間診療の実績がない。運営の在り方について、検討すべきである。

## 4. 根占山川フェリー

- ・毎年指宿市と同額の助成を実施している。山川から根占への渡航者には助成がある。同様に根占からの渡航者や商品運搬等の助成があってしかるべき。検討・協議を望む。

## 5. 職員の研修

- ・より良い住民サービスを提供する為に職員のみならず、嘱託職員等もスキルアップ・接遇等の研修の実施を要望する。

## チャレンジ創生補助事業

各自治会が、自主的に取組むソフト事業や特色ある事業への補助金（117自治会・3団体）

1千197万円

## 住宅改修工事の助成

一般世帯：対象工事費の15%  
上限25万円  
子育て世帯：対象工事費の20%  
上限30万円  
\*20万円以上の工事が対象

934万円

## 防災行政無線の整備

防災行政無線による住民への緊急放送広報等を円滑に行う為、機器の更新等を行いました。

3億6千945万円



このような事業が行われました

# その効果は?



## 町税コンビニ収納の利用状況は?

### 議員

24時間納付が出来る、コンビニ収納システムが導入され、平成29年度よりその収納が実施されていますが、利用率は?

### 税務課

平成29年4月より実施され、9月までの収納率は17%となっております。

## 合併浄化槽の普及率は?

### 議員

平成28年度までの合併浄化槽の普及率は?

### 建設課

合併浄化槽の普及率は44%になります。下水道まで含めると53%になります。

## ふるさと納税寄付金の状況は?

### 議員

ふるさと納税寄付金と返礼品、手数料、広告費の割合は?

### 企画課

平成28年度ふるさと納税寄付金は、3億1千5百万円です。その返礼品費等7割が経費として使われています。実質収入総額は、9千3百万円となっております。

## 審査の結果は

認定第1号	平成28年度一般会計歳入歳出決算	認定
認定第2号	平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第3号	平成28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第4号	平成28年度診療所事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第5号	平成28年度介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算	認定
認定第6号	平成28年度介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算	認定
認定第7号	平成28年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第8号	平成28年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定

南大隅町タウンプロモーション事業や  
明治維新150周年関連事業費などを追加

一般会計補正予算

3億4千351万円を追加し

総額79億6千750万円に！

12月会議は12月13日から22日までの10日間、佐多支所議場に於いて実施され、補正予算等を含め、20議案を審議しました。一般会計補正予算に対する修正案が提出されましたが、修正案は否決され、全ての議案が、原案通り可決されました。補正予算には、「南大隅町タウンプロモーション事業」「明治維新150周年関連事業」等をはじめとする、一般会計補正予算3億4千351万円や国民健康保険事業などの特別会計補正予算5千827万円等が追加されています。

明治維新 150 周年関連事業

事業費 231 万円



【事業内容】

「みなみおおすみ西郷さあ展示館」の展示資料の充実を図ると共に、入館者が満足できる展示環境の整備に努めます。

南大隅町タウンプロモーション事業

事業費 4,754 万円

南大隅町を舞台にした映画を作成し、観光地や「御崎祭り」、農業や豊富な食資源等を県内外に広く発信し、南大隅町の知名度を高め、観光入込客や交流人口の増加を図り、移住・定住促進につなげます。



【事業内容】

【映画製作費】 1億2千420万円

【町負担額】

平成29年度： 4千754万円

平成30年度： 5千328万円

【29年度分の財源】

企業版ふるさと納税 2,500万円

ふるさとおこし基金 2,254万円



## 一般会計補正予算に

# 修正案を提出

一般会計補正予算（第10号）に対し、「南大隅町タウンプロモーション事業」を廃止する修正案が提出されました。

## 修正案提案理由

水谷議員

今回、南大隅タウンプロモーション事業として、4千7百54万円の予算が計上されており、4千7百54万円の予算が計上されております。本町の様々な魅力を県内外に発信し、観光入込客・交流人口の増加を図り、移住・定住につなげるとされるが、この目的に資するものは、映画ではなく、プロモーションビデオで十分であると考えます。莫大な費用を使い、映画により情報発信をする事等、到底、町民の理解を得る事など出来ないと考えます。また、財源は「企業版ふるさと納税」を活用するとされるが、企業からの支援がそうしたやすく得られる訳もなく、ましてや職員が映画製作費を確保する為に、寄付金集めに奔走する事等もつてのほか、彼らには他にやるべき仕事、やらなければならない仕事があるはずで、以上のような観点から、「南大隅町タウンプロモーション事業」補助金等全額、これを削減しようというものです。

## 修正案賛成

### 津崎議員

南大隅町タウンプロモーション事業への29年度支払額は、4千7百54万円が計上され、30年度の支払額は、5千3百28万円です。2か年で総額1億82万円にもなります。財源は企業版ふるさと納税で足りない分はふるさと納税で賄うとされるが、出来るのでしょうか。ふるさと納税をされた方々は、はたして映画製作の為に寄付されたのでしょうか、そうではないと私は考えます。

## 原案賛成

### 木佐貫議員

本町伝統行事である御崎祭り・佐多岬・雄川の滝、基盤産業である農業、漁業の1次産業、自転車競技などを題材とした映画を製作し、全国各地の劇場で公開する事は、本町の観光産業、第1次産業、歴史、文化などの面においても、非常に大きな宣伝効果が期待できると思います。更に、ふるさとを離れ、都市部に暮らす人々は映画を鑑賞し、生まれ変わったふるさとに感動しながら子や孫が、ふるさとに帰ってくるきっかけになるかも思いません。さらに、都市部から本町へ移住定住の促進に繋がるものと思います。

### 大坪議員

佐多岬・雄川の滝は、オープン直後2・3年はメディア等の取材で、観光客は増加すると思います。

私は、町をPRする事は賛成ですが、多額の予算を計上し、映画製作しなくとも、今はSNSなど個人の投稿で情報が、全世界に広がっていきます。また、町内の観光地や農林水産業に携わる人の様子や町民の声等、ビデオレター式にプロモーションビデオを作成しふるさと納税の返礼品の中に入れるのも情報の拡散ができ喜ばれると考えます。また、駅や空港などに観光地の大型パネルの設置なども効果的だと考えます。

修正案は 4 対 7 で否決！ 原案が可決！

# 私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

		浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予 算	11 月会議 一般会計補正予算（9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	11 月会議 特別会計補正予算（介護保険）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計補正予算（10号）	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	-
	一般会計補正予算（11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計補正予算（8件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条 例	ネッピー・みさきちゃん奨学金基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	公共施設料金の見直しに関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	職員給与に関する条例（他2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	災害被害者に対する町税減免に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	「請負契約の締結」議決の一部変更 他3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

## 12月会議

町政を問う!

# 一般質問



	質 問 事 項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産税の滞納対策</li> <li>伊座敷トンネル</li> <li>水産業被災対策</li> </ul>	木佐貫 徳和
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施策</li> <li>小学校への英語教育導入</li> <li>佐多診療所</li> </ul>	後藤 道子
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の大泊・田尻地区の避難所</li> <li>町道川北山手線・古殿花ノ木線</li> <li>福祉タクシー券・温泉券</li> </ul>	大坪 満寿子
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産（繁殖牛）振興</li> <li>観光開発</li> <li>排水対策</li> </ul>	持留 秋男
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>南大隅高等学校の魅力化</li> <li>小中一貫教育</li> </ul>	水谷 俊一
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興</li> </ul>	川原 拓郎
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険・要介護認定</li> <li>防災</li> </ul>	津崎 淳子
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度南大隅高校存続対応策</li> <li>平成 30 年度農業振興施策</li> </ul>	大久保 孝司

木佐貫 徳和 議員

固定資産税の徴収対策は庁舎内関係課と連携した取り組みがなされているか。



町長 戸籍係・農業委員会・経済課等と連携して取り組む。

議員 農地・山林所有者の調査により滞納対策につなげることができ。昨年の農地利用権設定件数はどの位か。

経済課 平成28年度の利用権設定は、284件である。

議員 1反当たり借地料が発生するが滞納者とのチェックをしているか。

税務課 農業委員会からの資料により今後調査します。

議員 農地法の3条・5条申請も同じことが言えるかどうか。

税務課 それについても、調査していく。

議員 森林組合の除間伐、農地台帳による耕作放棄地など関係課と連携して滞納対策につなげることはできないか。

町長 滞納対策は重要な案件と思う。今後、田畑・土地、空き家は行政が面倒を見るような仕組み、枠組みが起こって来るのではないかと懸念している。各課連携を取って、スムーズな収納対策に努めていく。

議員 孫の代になった時、自分の土地を全く知らないとい

う世界になってしまいますので早い段階で取り組んでほしい。

議員 差し押さえ後の公売・捜索について伺う。

町長 公売については、平成20年度から22年度にかけて4件執行し、それ以降は実施していない。今後、空き家バンク等の情報を活用し、滞納者に係る物件があれば差押え公売を執行していく。

### 伊座敷トンネルについて

議員 完成後の出入口の安全対策、騒音対策はなされているか。

町長 安全対策は減速表示板設置、路面表示は公安委員会と協議し所要の対策を講じる。騒音対策については、供用開始後の状況を踏まえ検討していく。

議員 Aコープ前からの歩道設置の見通しはどうか。

町長 県の見解は、移転等を含む保償費が高額になり費用対効果が見込まれないから、整備計画はないとの回答。しかし危険性は十分認識している。

議員 危険性を認識されているのであれば歩道代わりの側溝の蓋の交換とか徐行マーキングなどの要望はできないか。併せて歩道設置は要望を続けてほしい。

町長 商店街の意見を聞き要望していく。



工事中の伊座敷トンネル

### 議員のひとり言

先祖から受け継いで来た土地、所有者不明にならないよう早急な対策を

## 観光施策について問う



**町長** 観光分野の事業に精通した地域観光プロデューサーの招聘がなされるところ

答

**議員**

佐多岬・雄川の滝の整備完了により、今後のソフト施策をどのように考えているのか伺います。

**町長**

ハード面の完了によって佐多岬・雄川の滝がより明確な観光地として確立され、今後、観光振興の最大の目的である経済波及に寄与していくにはソフト面の充実によるサービス提供が不可欠であると考えています。民間事業者の参入や新規の取り組みを期待しているところです。町としては、観光のソフト分野における中核組織として観光協会を位置づけ、民間事業者との協働が促進されるよう、人的、財政的に必要な援助を行っているところです。

**議員**

取り組みがなされているということは分かりますが、その進み具合が遅いのではないかと考えておりますが、どのように考えているか伺います。

**観光課長**

そのような声が寄せられていますので、地域観光プロデューサーを招聘させていただき、地域の関係関連者とヒアリングや観光資源を調査しながら事業者と連携して色々な事業を進めて充実させていきたいと思っております。

**議員**

観光事業の開発には覚悟が必要だと私も感じております。専門人材を起用したことで発展していくことを願います。

## 小学校への英語教育導入について問う

**教育長**

来年度から先行実施という形で

答

**教育長**

現在グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は生涯にわたる様々な場面で必要とされるのが想定され、その能力の向上が大きな課題であります。そこで平成三十二年度から施行される新学習指導要領では、系統性を持たせた指導を取り入れるため、本町では来年度から先行実施で一年生、二・三年生、三・四年生、五・六年生で各小学校が教育課程や時間割編成を行うっております。

**議員**

小学校低学年からの英語教育の導入は大変良いことだと考えますが、指導者が必要だと考えます。そのあたりは出来ているのか伺います。

**教育長**

全て出来ているというわけではありません。十分に先生方が研修を積まれて英語教育

**議員**

南大隅町独特の英語教育についての考えを伺います。

**教育長**

幼稚園から六年生まで系統性を持たせた取り組みが本町の独特の英語教育であります。

**議員**

今後、英語はとても重要だと考えます。小学校低学年のうちから英語に親しみ、楽しみながら英語を学べる環境を作っていただきたい。



議員のひとり言

何事も覚悟が必要！

大坪 満寿子 議員

## 大泊・田尻地区の

## 避難所を佐多岬ふれあい

## センターに変更は？



**佐多岬ふれあいセンターは指定管理者へ運営委託しているため引き続き旧大泊小学校を避難所とする考えである。**

町長

議員

旧大泊小学校が指定避難所になっているが身体の不自由な方や高齢者には不便な場所が多く、旧大泊小学校に避難せず、公民館や佐多岬ふれあいセンターに避難している住民がいることを把握しているのか伺います。

総務課長

避難されていることは把握しているところです。

議員

もし、避難所に指定されていない公民館などに避難し、事故が起きた場合はどうなるのか伺います。

総務課長

自主避難という位置づけになるので、できるだけ町

## 川北山手線及び古殿花ノ木線の道路改良は？

議員

年々、台風も大型化するまで旧大泊小学校を避難所とするならば、トイレ改修・畳部屋への改修等住民の安心安全を考慮した避難所への対応を求めます。

が指定した指定避難所に避難することを勧めたいと考えております。

町長

危険箇所を調査し、安全な道路環境を確保できるような部分的な補修や維持に努める。

議員

横馬場・針馬場・古殿・西本・入ヶ山・貫見・川原・浦北之口をはじめとする住民の生活路線、基幹道路です。道幅の狭い所がありカーブも多く今まで何回か事故も起きている。カーブの改良を早急にとの声がありますが？

建設課長

用地の問題や地形的な問題等もあるので十分な時間をいただいで検討してまいります。

議員

両町道は、地域住民にとつての生活路線、基幹道路です。又、産業振興に欠かせないものであります。危険箇所の早急な改良を要望します。



道幅が狭く、見通しが悪く危ない。

## 福祉タクシー券と温泉券の換券(交換)はできないか？

町長

国から補助金をいただいている事業で換券は補助金適正化法に抵触する恐れがあり困難である。

議員

福祉タクシー券、他の各補助券の予算に対する利用率は？

福祉課長  
町民健康  
介保課長

28年度  
各補助券  
の予算に対する利用率  
は下記のとおりです。

タクシー券	53.6%
温泉券	46.1%
針灸券	33.8%

議員

利用率が低いのに驚きます。せっかく計上された予算、無駄なく使い切るよう啓発運動に取り組むのも今後の課題だと思います。私たち町民の大切な税金でもあります。無駄なく大切に使用していただきたい。補助券発行後役場が窓口になり住民同士補助券交換の場を設けるのも一つのアイデアではないでしょうか。各課の垣根を取っ払って考えてみるのも面白いのでは。

## 議員のひとり言

高齢者や住民に寄り添ったきめ細かな行政を目指してほしい。

# 畜産農家戸数の減少・全 共5年後の対策について



## 町長 後継者育成や、I・U・Jターン 希望者に様々な施策を準備して支援します

**町長** 今年度、農業施設等利活用情報バンクを設置します。（農業を継続できない方に機械や施設等を登録していただき、新規就農者へのスムーズな移行を推進）

また、離農される畜産農家の優良雌牛を保留するため、肉用牛素牛貸付基金の一部改正を検討。

**議員** 合併時からすると、畜産戸数及び頭数減であるが、増頭対策の一環として肉用牛素牛貸付基金の条例をどのように改正されるか伺います。

**経済課** 現在、子牛と育成牛について肉用牛素牛貸付基金を実施しています。今後、成牛につきましても審査会等で、中身をも

う少し検討し、改正をしていきたいと考えているところです。

**議員** 所得増のため、系統のよい佐多牛（しらき系）繁殖、育成の検討を。

**町長** 全く第三者が突然来ても、今経営してらっしゃる方が後継者になり得る方を育てるつもりで、伝授していくという、仕組みを作ろうとしております。

**議員** 我が町では、畜産が主でありますので、是非ともこの繁殖牛（しらき系）は地域の特色を持った優良種であることから、県の保有牛として強く要請していき、5年後に向けて農家指導体制に十分力を入れるように要望します。



第五栄光号

## 辺塚の原生林や滝 周辺の観光について 問う

## 町長 国・県関係機関 へ保全・保護併 せて要望

**議員** 熊之細原生林は素晴らし、この地区の保護対策を。

**観光課** 町長、総務課長、観光課職員で現地を見て参りました。手付かずの自然が残っている現地に、ヘツカラン、オオタニワタリ等が結構目にされ、大木が石を抱いて自生しており、きちんと保全・保護しながら後世に残すも

のと認識しています。

**議員** 特別保護区みたいなふうにして関係機関に要望して、盗掘が出ないように守っていただきたい。

**町長** 自然保護体系の部分は、地域の方々と共存できるような観光の在り方、国有林の大事な資源を守りながら、国県に要望していきたいと思っております。

## 排水が悪い圃場の 排水対策はできな いか。

## 町長 支援策を実施 する方向で 検討している

**議員** この事業は県単、町単なのか、農家負担は何割ぐらいですか。

**経済課** 町単でございます。事業費の2分の1、20万円を限度の総体で2百万円の事業を予定しております。

5年後の鹿児島全国畜産共進会に佐多牛（しらき系）を出場させたい。

### 議員のひとり言

教育委員会  
小中一貫教育の  
実施を検討されているが、  
その計画の目的と内容は



教育長  
平成33年度から本格的に取り組む  
考えです。

組織的・継続的な教育活動の徹底による教育効果の向上や子供たちの社会性の育成、中一ギャップの緩和をはじめとする生徒指導上の諸問題に資する事になり、義務教育全体の質の向上が期待されます。今後は、乗り入れ授業の検討や学校応援団の活用、運動会や文化祭の共同実施さらに、学校運営委員会を設置し、小中一貫を実施したいと考えます。様々な課題は考えられるが、小中学校の職員が共働できる機会を出来る限り多く取り入れる事で、9年間でより良く指導するにはどうしたら良いか、指導の連続性や一貫性を意識した

指導法改善に繋がり、本町の教育全体の質の向上が期待されます。

議員  
小中一貫教育はハードルも高く、問題点も多いと考えます。小学校同士・中学校同士の連携も考えられるが、小中一貫教育以外の方法を検討してみる考えはないか伺います。

教育長  
佐多小は、4年後には完全複式学級になりそうです。そうなる、現在8名の先生が4名になってしまいます。そういった中で小中が一緒になり、中学校の先生の専門性、小学校の先生の

きめ細かな指導方法をミックス指導が出来る点などを考えると、小中学校で連携した方が良いと考えます。他の市町村でも、その方向で動いている様です。

議員  
小中一貫校を設立・運営するには、コミュニティスクールが必要です。地域の方々とPTA・卒業生などで組織するコミュニティスクールで協議の上で設立しないと、地域の理解や協力が得られなくなりそうです。小中一貫校とコミュニティスクールは自転車の前輪と後輪、一緒に回転しないと進んでいきません。コミュニティスクールの設置を急ぐ考えは？



第一佐多中学校の授業風景

教育長  
早急に学校運営協議会を立ち上げ、そしてコミュニティへ持つていけたら良いのですが、まずは、小中学校が一緒になって学校運営協議会を立ち上げていくのが理想的だと考えます。

議員  
学校運営協議会はそのぞれの学校が立ち上げないといいませんが、それをコミュニティスクールへ持つていくには時間的に厳しい状況です。この問題に関しては、まだまだ議論も調査も必要だと考えます。本町の小中学校に高校まで含めて学校の魅力化をどの様に図っていくかが重要だと考えます。子供たちに投資する事は、この町の未来への投資だと考えます。ブーメラン人財とよく言われます。投資した子供たちがブーメランとなり地元へ帰り、地元を創っていく、それを期待しながら、今後も、お金も努力も惜しまず取り組むべきだと考えます。

そのほかに、南大隅高等学校の存続の為に、学科再編などによる「高校の魅力化」に向けた取組みについて、質問・提言も行っています。

議員のひとり言

小中一貫教育は地域の協力なしには、実現しません。もっと、地域との協議を！



## 佐多岬・雄川の滝再開発完了後の管理運営について伺います。

**町長** 整備完了後の佐多岬の管理体制は、鹿児島県が整備

を行い町に無償譲渡されるエリアと環境省が直轄事業により整備を行い町が維持管理を担うエリアが混在し、雄川の滝についても鹿児島県が整備を行い町に無償譲渡されることとなります。再開発完了後の管理運営方法ですが、整備完了前の適切な時期に指定管理者による管理や一部民間委託の推進など、民間ノウハウを活用した効率的な運営方法を関係機関とも調整を図り、早い段階での導入を検討してまいります。

## 管理経費の財源について伺います。

**町長** 管理経費の財源については

あります。環境省から日常の維持管理を引き受けることとなります。

が、光熱水費、浄化槽管理、法定点検、大規模な施設修繕等は、環境省が直接管理することになります。訪問者からの理解が得られれば、一つの方法として、「入域料」や「協力金」など、必要な財源を確保できる仕組みを多角的に協議・検討してまいります。

**議員** 屋久島みたいに直接入園料、協力金をいただく事は考えられないか。

**観光課長** 協力金など徴収することになれば、来訪者に理解してもらえないような対策が必要になってきます。さらに徴収することで、料金設定、徴収方法、徴収コスト、そして具体的な用途などが、様々な課題があるため、これから先、先進地の研修を行いながら、引続き町としましては、環境省とともに可能性を、検討していく予定としております。

**議員** 30年度の当初予算維持管理経費は概算でどの程度か。

**観光課長** 30年度の当初予算につきましては、予算協議中でございまして、現時点で想定される概算要求額の試算とい

ましては、歳出予算の方を3千6百41万7千円、歳入の方を1千1百78万7千円程度と試算をしております。

## 魅力ある観光地づくり事業における全天候型広場の採択込みについて伺います。

**町長** 本事業では全天候型広場などの建築物は、採択基準に無いことから、平成29年度において不採択となり、本計画から省いたところでございます。台風災害により、被災したゲートボール場は、主管する教育振興課において検討しているところでございます。

**議員** 全天候型広場の復旧状況はどうかっているのか伺う。

**教育振興課長** 現状復旧につきましては、30年度の当初予算で設計委託料を予定しております。その後

に工事を予定して、30年度中の完成を予定しております。場所につきましては、同じ敷地内で建物の構造につきましては、以前の建物の同等かそれ以上のものを考えております。また、今後の作業の過程では、少し構造的に変わる部分もあるかと思っております。

## 新たな観光スポット開発計画について伺います。

**町長** 今後は、「佐多岬」や「雄川の滝」「パノラマパーク西原台」を柱としつつ、来訪者のニーズや滞在時間を長くする仕組みなど、観光地としての魅力を高め、相乗効果が見込めるものであれば、優先順位を決めて有利な補助事業を活用しながら検討してまいります。

**議員** 観光産業だけでなくして今後の1次産業の振興をどのように進めていくのか伺う。

**町長** 概ね、ハード整備事業に関しましては町でやる部分、また一旦ここで区切りをつけて、そういうような状況を考えています。

大隅縦貫道、大中尾から大竹野区間の平成31年早期着工を

議員のひとり言

津崎 淳子 議員

認定された区分に応じたサービスでは、生活に支障がある方への支援のあり方について伺います。



町長

ケアマネージャーを中心にケア会議を開催し、支援の検討を行い、対応している。

議員

認定調査を一次判定コンピュータにて入力した結果、要介護認定基準時間が微妙な事により介護度の判定が変わります。少しでも介護度が正しくなるように、日々の記録が重要です。普段の介護の内容、病気やケガの既往歴、日頃から困っていることや、日によって変動があること、認知症の方の普段の行動などをこまめにメモをとったり、粗相をした時の写真や動画などを撮影することは家族には抵抗があるかもしれませんが、介護が必要な状況を口頭で説明するのは難しいです。このような記録等を調査の参考にしていただけますか。

福祉課 介福課長

調査時に普段の状況をメモしていただければ調査する

災害時における避難支援体制について伺います。

町長

側としても有難い。実際にメモを提示する方もいます。写真や動画も、提示していただければ調査の参考にさせていただきます。

台風接近時や大雨などの際は、現在22ヶ所の施設を避難所にして消防団や職員を配置します。台風など事前に災害が予想される場合は、関係機関と連携し、避難情報を発令し風雨が強まる前の早めの避難を呼びかけています。今後も訓練などを通して、防災意識の高揚を図り、地域を中心とした自主防災体制を構築して参りたい。

東日本大震災以降、国として自助・共助の重要性が認識され、地域ごとに防災計画やマニュアルを推奨し、地域の居住者が自ら作成することが原則となっています。マニュアル等の作成について意向がある場合は、必要な助言及び指導、支援を図ってきたい。

議員

防災マップが作成されてますが、地域や場所によっては起こりうる災害が違ってくると思いますが、地域別防災対策マニュアルを作成される考えはないですか。

総務課長

また昨年、防災専門官が就任し現在、防災計画等の見直しも行っており防災マップ等の改定等についても今後検討して参りたい。

災害時の要援護者名簿が作成されているのか、また、要援護者の避難支援制度があるのか伺います。

町長

要援護者の名簿は、住基情報や介護システム、障害者システム等を活用して対象者を抽出している。次に、要援護者の避難体制を取りまとめ、今年度から台風災害等においては、老人福

祉センターを「福祉避難所」として開設し、避難支援を行っているところ。今後、日頃からの声かけや見守り活動など地域での共助による仕組みについて、避難行動要支援者名簿の充実と伴わせて地域と連携を図りながら、要支援者の避難支援制度を整えていきたい。

議員

防災意識を高める為にも各自治体ごとに防災マップ等を利用して、危険区域や避難経路の確認を行い、また防災管理官、町職員、消防関係を交えて、ワークショップや防災訓練をして地域防災の向上推進をしていただけないでしょうか。また要援護者の避難体制の構築も行政、防災官、地区社協、自治会、自主防災組織、消防団、民生委員・介護サービス事業者などと協力していただき、早期に確立していただきたい。防災は、自助・共助・公助の三位一体となった対策が重要だと思います。

※要援護者名簿とは？

災害発生時の避難等に特に支援を要する方の名簿



災害に時なし・場所なし・予告なし

議員のひとり言

## 平成30年度施策を問う



### 南大隅高校対応策について

議員

高校入学者で町寮希望者が増加すると聞かすが、町としての対応策を伺います。

教育長

寮生の四名が卒業して県外から四名、県内から三名の生徒が入学を予定しており、三名は自転車通学圏内ではありませんが、寮を希望する選択肢もあります。



南大隅高校生徒寮

町としては民間下宿先への助成を検討したいと思います。

### 農業施策について

議員

農業振興ビジョンに基づいて施策は順調に進められているか。

アボカド栽培者、面積等は増加の傾向か伺います。

町長

ビジョンの基本方針である物流と商流の一元化、農畜産物振興、人材の活用、育成に基づき施策を進めています。アボカドについては26年から本年にかけて耕作者17名、二一三アールとなり本年度初出荷と共に順調に展開しており期待の果樹品目として推進して参ります。

議員

栽培面積の目標は立てておられるか伺います。

経済課長

30年度は80アールを見込み拡大を図っていきます。

議員

パイナップル栽培は今後事業規模をどのように進められる考えか伺います。

町長

本年10月より35アール、約5千本、10名の耕作者で取り組んでおります。安定した果実生産の為、簡易ハウス、優良苗木の確保等に支援策を考慮し安定的な経済作物となるよう体制づくりに努めます。



パイナップル畑

議員

本町の新農産物をふるさと納税返礼品として活用され、全国にPRしていく考えはなにか伺います。

町長

本町の新農産物パッションフルーツ、アボカド、パイナップルなどは温暖な地域性の高い商品ですので、ふるさと納税の推進、本町新農産物のPR、観光による地産来消の推進に期待しております。



アボカド

議員

産業振興基金は、30年度活用される考えはないか伺います。

町長

来年度予算における農業振興の国県事業を活用した事業展開を行うなかで、国・県より予算配分がなされなかった事業においては、産業振興基金の活用を検討いたします。

### 議員のひとり言

# 教育産業常任委員会所管事務調査

## 〔小・中教育連携等の調査 熊本県産山村〕

平成二十九年十一月八日に産山（うぶやま）小中学校メディアセンターにおいて小・中教育連携等調査を実施しました。

平成十九年度に村内の二小学校、産山北部小学校と山鹿小学校が統合され、産山小学校が開校されると同時に、内閣府の小中一貫教育特区として県下に先駆けて小中一貫教育がスタートし十年が経過しております。内閣府構造改革特区認定、文部科学省承認教育課程特例校、西日本で初の土曜授業を開始、小・中学校卒業式を開催、保育園を教育委員会に移管し、県下の保小中一貫教育もスタートしております。

十年の間に色々な先進地認定を受けてきており、児童生徒のよりよい成長に向けた具体的な活動や支援を通して、協働した取り組みを実践されておりました。

地域と関係機関、そして行政がそれぞれ知恵を出し合いながら、子ども達のために努力されている姿に感銘を受けたところでした。



村長、教育長から説明を受ける

今回の調査は南大隅町における小中連携、小中一貫教育の導入にあたって、大いに参考となる調査となりました。

また、指導主事である教育振興課長補佐も今回同行しており、我が町に、この制度を導入する際の参考とされるものと考えています。

### 〔教育情報化ビジョン〕

- ・タブレット二〇台
- ・無線LANの整備
- ・全教室に電子黒板を配置
- ・ICT機器を導入
- ・学校常駐のICT支援員配置

# 総務民生常任委員会所管事務調査

## 〔徴税体制等調査 熊本県御船町〕

十一月八日熊本県御船町にて、徴税体制等の調査を実施。

南大隅町の町税の滞納対策は、毎年、大きな課題として審議されます。そこで、当委員会は、熊本県上益城地区、御船町の徴税体制・状況調査を行いました。

### （御船町の税徴収率）

- ・平成十六年、熊本県内四十五団体内中、四十一位「熊本のお荷物」と呼ばれていた。
- ・平成二十七年年度、熊本県内十四位まで改善。
- ・滞納額も三分の一の額まで減少。

### （併任徴収制度）

熊本県地域振興局と郡内五町で取り組み、協定書を交わし、他町の職員が徴収吏員も兼ね、人員不足解消。事務所を設ける必要なし。

### （延滞金の徴収）

納期内に納入した町民と公平性の観点から、延滞金の徴収もしっかり行う。

（搜索と差し押さえ）  
予告、催告を出したら即、差し押さえをする。

（適正な執行停止）  
納税されたらすぐに執行停止する。

学ぶことが多い視察でしたが、納税は、私たち町民の義務だと自覚することが一番大切なのでは？と感じた視察でした。



税務課担当者から説明を受ける

# みなみおおすみ 西郷さあ展示館オープン!!



平成30年1月12日「みなみおおすみ西郷さあ展示館」がオープンしました。当日は、町長、議長、教育長によるテープカットや神山小・佐多小の子どもたちによるくす玉割りなどでオープンを祝いました。

西郷さあをはじめ本町に係する明治の偉人ゆかりのものや、八島太郎に関連するものなど、数多くの品々が展示されており、是非一度、訪ねてみては、いかがでしょうか。



## みなみおおすみ 西郷さあ 展示館

## 編集後記

「立春」暦の上では、春の始まりとされていますが、今年は異常気象により厳しい天候が続いている様です。

春が待ち遠しい、気持ちこそ誰かが望んでいる事でしょう。

今回から、モニター制度が導入され、七名の皆さんに、御協力いただく事になりました。モニターの方々の御意見や御要望等を参考にしながら、編集会議で検討し、よりよい親しみのある内容になるよう努力して参ります。

今後は読者の皆様方の御意見等をお聞かせいただければ幸に存じます。

日高 孝壽



## 表紙の風景

はまゆう保育所・合同七草会



## 【お知らせ】

3月会議は、本庁議事堂で開催されます。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

〔発行責任者〕

議長 大村 明雄

〔広報広聴常任委員会〕

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪満寿子